

京都府立医科大学医学科教育プログラム評価委員会（令和6年度第3回）議事録

- 1 **開催日時** 令和7年2月18日（火） 午後6時～午後7時
- 2 **開催場所** 京都府立医科大学基礎医学学舎3階第3会議室
- 3 **出席者** 橋本委員長、武藤委員、瀬戸山委員、池谷委員、三上委員、神田委員、吉岡委員、金子委員、若月委員（外部有識者）、学生代表6名

4 議事

（1）審議事項

- ① カリキュラム改善のための課題検討について
 - ・ 形成的評価にかかるFDを行うとともに、アンケート質問項目等を整理の上再度本委員会での審議後に教育プログラム委員会で議論することとなった。
 - ・ 総合講義の講義数について、他学の状況を調査の上検討する必要があるのではないかとの意見が委員からあった。
- ② IRによる評価方法の妥当性と信頼性について
 - ・ 本学の卒業試験における評価方法は、国家試験の可否と非常に高い相関を示しており妥当性があるとの結論となった。
- ③ 暫定コンピテンシーとカリキュラム調査について
 - ・ 今後、医学科教育プログラム委員会にワーキンググループを設置の上、最終的なコンピテンシー策定にむけた検討を開始するよう指示があった。
 - ・ 暫定コンピテンシーについては検討段階にあるため、令和7年度シラバスには記載せず、暫定コンピテンシー及び今回の調査結果を学内向けに共有することとなった。
 - ・ コンピテンシーの決定は、カリキュラムの確定に必要であり、継続的な改良が重要であるとの意見が外部委員からあった。

（2）報告事項

- ① 2年生追再試時期の検証結果について
 - ・ IRでの調査結果をもとに、11月のトリアス祭後に第2学年の前期追再試験を実施する旨の報告がなされた。
- ② その他
 - ・ 卒後臨床研修医に対して現在行っているオンライン臨床教育評価システムについて、卒後臨床研修センター教員から情報提供があった。